



# 須田っ子 第15号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・GA・DA



ありがとうございました 「卒業証書授与式」から (2017.3.24)

## 卒業おめでとう

校長 内山 晋

三月二十四日、卒業証書授与式を挙行いたしました。卒業生十九名が無事六ヶ年の課程を修了したことを報告いたします。

以下、式辞(要約)を掲載させていただきます。

### 式辞(一部掲載)

(前略) 皆さんが須田小学校に入学した六年前、あの東日本大震災が発生しました。君たちと同じ小学生が、同時に同じ6年間を遅しく過ごしてきたことを、皆さんの心の糸に紡いでほしいと思います。そして、かつて、この須田でも、毎年のように起きる水害に苦しみながらも立ち向かった歴史があることを心に刻んでほしいと思います。

今からおよそ百三十年前、越後の地を襲った大雨は、須田にも大きな傷跡を残しました。信濃川の堤防は、現在の須田小学校近くで大きく壊れ、大量の濁流が、須田の地に流れ込みました。水が引いた後、上流から運ばれた泥や砂で、美しい田畑が覆い尽くされ、砂原に変わりました。当時の人たちは、明日の須

田を信じ、一握りの土くれ、ひと株の苗を手にして、砂や泥を掘り返し、見事な堤防に作り変え、水害に流されない作物の栽培にも挑戦しました。「須田をもっと豊かにしたい。」当時の人たちの努力が、須田の姿を変えていきました。百三十年前の須田の絶望を救うために立ちあがった人、はじめは、ほんの一人か二人でした。そこから、須田の変化が始まりました。百三十年という長い時を挟んで、過去と現在をはっきりと繋がっています。

震災の年に入学した君たちが卒業する春、震災の年に生まれた子供たちが、須田小学校に入学します。皆さんの母校須田小学校も、新たなスタートです。皆さんも、新たなスタートラインに立ち、中学校でも、自分に挑戦し続けてください。

卒業生の皆さんに贈った漢字「惺惺」は、「心が星のように輝いている。しっかりといる。」という意味です。確かに一つ一つの星の光は弱く見えます。しかし、星と同様に、皆さんの心は、熱い決意で満ちています。頑張ってください。惺惺の十九名の卒業生の輝かしい未来を祈念いたします。

### 卒業

おめでとうございます

